

# 特定非営利活動法人ベビースマイル石巻

## 令和4年度事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

### 【R4年度 総括】

こども家庭庁に向けた社会の動きの中で、これまで以上に子どもの権利を柱にした児童館、組織づくりの重要性が注目されている。コンソーシアム運営で学びながら行ってきた「石巻市子どもセンター」の指定管理選定へ単独での提案をし、子ども委員も交え選定されたことは、団体としても改めて子ども、子育て世代とともに環境を良くしていく覚悟となった。

各事業の主任・館長を中心とし、自立的な事業運営が実施され、職員間コミュニケーションも良く、信頼の上で事業・支援について常に疑問や向上心を持ち対話型の組織運営がされていると感じている。

また、東松島や女川の子育て世代の支援ニーズが増え、里帰り出産時のサービス利用など、市を超えたニーズへの対応に課題を感じている。子育てをする場所に関わらず、孤立しがちな時期をみんなで見守ることができる仕組みの必要性を提案していきたい。

県や国とのパイプが太くなった1年。子育てボランティアなど地域人材の巻き込みも増えている。子ども子育て当事者の声を社会に伝える力が強まった一方で、声を聴く余裕を各事業で意識した組織づくりをしていきたい。

### 令和4年度 ベビースマイル石巻

役員 ・理事5名・監事2名

会員数 ・正会員13名・賛助会員8名・法人会員5名

スタッフ体制・常勤4名・非常勤10名

### 【重点目標】

- ・石巻市子どもセンター指定管理の継続
- ・組織強化の取り組み、事務局の強化、リーダーシップ育成（フォロー）
- ・妊娠期へのアプローチ、教育と福祉の連携

団体理念 命を守る。地域とつながる子ども子育て支援。

中期ビジョン（2022～2024）

ビジョンコピー：育てるって、楽しいへ。～みんなが親心。頼れる子育てのまちへ～

#### ① 子ども子育てがエンパワーされ社会とつながっている

- ・仲間や地域とつながって支えあっている。
- ・親子が育ちあい、地域ぐるみで子どもを見守る第3の居場所が地域に増える
- ・自分に合った情報を得ることができ資源を活用している。  
(妊娠期から子育て支援につながっている)  
(困った時に相談できる場所を知っている)

- ・子どもや子育て世代が得意など力を活かす場がある。
- ・子ども子育て当事者の声が社会へ発信され、環境が良くなる。

## ②子ども子育てを自分事として取り組む人を増やす

- ・パートナー、祖父母世代と協力し合っている
- ・子ども子育て支援について関心のある人が増える
- ・地域住民が関われるボランティアメニューを知っている
- ・企業との協働が増え、子ども子育てを応援する企業が増えている→ワークライフバランスを重視する会社増える
- ・子どもの育ちを見守る大人が増え、子育て世代の育児と仕事の負担が軽減され、子どもと関わる時間や地域に関わる時間が増え、子どもを安心して産み育てる地域を推進する

## 1【「弧育て」にならない仕組みを作ろう】

- ・妊娠期からの切れ目ない子育て支援を目指す
- ・孤独や不安を抱えない子育て環境になる
- ・子連れでの交通手段が増える（身近に子育ての資源がある）
- ①【委託事業】地域子育て支援拠点事業「マタニティ・子育てひろばスマイル」（石巻市子育て支援課）重点：マタニティ期
- ②【自主事業】出張イベント（おさがり会・ベビーマッサージ）（寄付金等）
- ③【委託事業】利用者支援事業（子育て世帯包括支援センター「いっしょi s s y o」）（石巻市子育て支援課）重点：企業連携
- ④【委託事業】産後ケア事業（石巻市健康推進課、女川、東松島）

## 2【子どもの権利を柱に子どもの「生きる」を支える】

- ・子どもの育ちにあった居場所がある
- ・子どもの声を聴く大人が地域増えている
- ⑤【指定管理事業】・いしのまき子どもセンターコンソーシアムによる子どもセンター（児童館）の運営（石巻市子育て支援課）
- ⑥【自主事業】子どもの貧困、ひとり親支援

## 3【性別や世代を超えて、みんなで子育てを楽しもう】

- ・子育てと仕事を両立しやすい環境になる
- ・子育て世代と祖父母世代が協力しあっている
- ・多世代が交流し子育てが防災や強いまちになっている
- ⑦【委託事業】石巻市ファミリーサポート事業（石巻市子育て支援課）
- ⑧【委託事業】子育て参加促進事業（石巻市子育て支援課）
- ⑨【委託事業】父子手帳作成業務（石巻市健康推進課）
- ⑩【自主事業】家庭訪問型子育て支援ホームスタート事業（みやぎチャレンジプロジェクト助成）
- ⑪【委託事業】石巻市協働推進人材育成事業「NPO 留学」（地域振興課）
- ⑫【自主事業】いしのまき子そだてフェスタ

#### 4, 組織強化

⑬ 【自主事業】ステップアップのための土台作り (J&J プロボノ支援 事務局:日本 NPO センター)

- ・会員数の増加・寄付リスト作成・認定 NPO 取得検討・資金調達・ニュースレター発行

#### 5, その他

⑭ その他 協議会、委員会

⑮ 企業連携

#### 【事業の詳細】

① 【委託事業】地域子育て支援拠点事業「マタニティ・子育てひろばスマイル」

令和4年度石巻市地域子育て支援拠点事業実績報告書 総括表

実施施設名		マタニティ・子育てひろば「スマイル」														
実施日数	実施日	利用者					地域支援取組回数		相談		講習会等					
		保護者等	児童	750~2歳合計	合計	組数	うちサークル支援取組回数	延べ件数	実人数	回数	参加者					
											保護者等	児童	750~2歳合計			
4月	22日	140人	163人	141人	303人	139組	3回	1回	55件	35人	3回	16人	17人	16人		
5月	21日	158人	173人	161人	331人	155組	4回	1回	57件	33人	4回	53人	56人	55人		
6月	23日	171人	174人	165人	345人	167組	5回	1回	55件	29人	5回	52人	52人	52人		
7月	21日	174人	185人	173人	359人	173組	4回	1回	59件	38人	4回	64人	62人	59人		
8月	22日	233人	218人	181人	451人	191組	4回	1回	46件	34人	4回	109人	63人	55人		
9月	20日	146人	151人	142人	297人	143組	6回	1回	66件	36人	6回	54人	53人	53人		
10月	21日	184人	198人	189人	382人	184組	4回	1回	48件	33人	4回	38人	40人	40人		
11月	22日	236人	239人	225人	475人	225組	5回	1回	58件	43人	5回	42人	40人	38人		
12月	22日	210人	226人	209人	436人	202組	5回	2回	37件	20人	5回	65人	66人	63人		
1月	21日	228人	244人	224人	472人	219組	4回	2回	65件	36人	4回	53人	53人	53人		
2月	20日	236人	255人	241人	491人	235組	4回	1回	29件	26人	4回	41人	42人	42人		
3月	23日	244人	265人	235人	509人	238組	4回	1回	43件	25人	4回	50人	49人	49人		
合計	258日	2,360人	2,491人	2,286人	4,851人	2,271組	52回	14回	618件	388人	26回	637人	593人	575人		



ママボランティア登録・・・登録会をおこない、15名が活躍。

#### 【よかった点】

- ・年間 4851 人、組数で 2271 組の利用があった。前年度と比べると 300 人ほど増。
- ・10 月より開放制限を 2 部制に変更し予約不要としたため、利用者数の増加に繋がった。
- ・0 歳開放日・マタニティの日は変わらず好評で、はじめまして会や産後ケアから利用に繋がっている。やはり近い月齢や、少し先の月齢のお子さんの様子を身近に見てお話できるこ

とが魅力だそうで、0歳開放日を選んで遊びに来てくれる方が多い。

・ママ同士が同じ境遇の方とお話できるプチサロンでは、双子育児や同居をテーマにおこなったところ、特に同居のテーマで反響が大きくママ同士もつながることができ、その後も何度かひろばで集まる姿があった。

・子育て世代包括支援センター「いっしょ issyo」へびたや、石巻市ファミリーサポートセンター、ホームスタート、産後ケアとの繋ぎもひろばで活発におこない、それぞれの事業と連携を取りながらニーズに応えることができた。

#### 【課題点】

・初産のマタニティさんとの出会いが少ない 二人目以降のマタニティさんの利用は多いが、やはり初産の方と出会えていない現状がある。周知の方法や来所に気持ちの向く仕掛けなど継続して考えたい。

・利用時間の制限が長い期間続いたことで、ママ達の困り感など把握しづらい現状が続いている。より丁寧なヒアリングや、お子さんの様子などスタッフ間で共有しながら目を向けていく必要がある。

#### ② 【自主事業】出張イベント

利用者数 保護者273名、子ども269名 計542名

集まったチャリティ金額：26716円

#### 【よかった点】

- みんなの広場やらないんですか？とのママ達の声がありチャリティーおさがり会で集まったお金で、昨年9月から復活開催することができた。
- 1歳2歳3歳と走ったり、体を動かす年齢は天気は左右されず、大きいホールで遊ぶことができ体力を消耗してぐっすり寝てくれる
- 予約不要だと利用しやすい。急な体調不良でも連絡しなくていいし、買い物ついでに寄ったり気兼ねなく利用できる。はじめての利用の方も多し
- 車を所有していないが、歩いて来れる ●ゆったりした雰囲気が良い
- 広いホールを生かして、新聞やおもちゃなど片付けを気にせず思いっきり遊べる
- 手形足形制作では、家ではなかなかできないので、生後200日の記念に作りに来たなど記念品を作りに来る方もいた

#### 【課題点】

- 11時半ごろになると遊びたいけど、眠いとぐずぐずになる子たどもちがちらほら、絵本や手遊びなど何かの区切りがあればよかった。
- パパたちも過ごしやすい工夫があればよかった。
- 制作コーナーは、子どもたちはあまり興味がない回もあり、ママ達は作りたかったのに！という場面も、、
- 遊ばせることがメインになってしまいママ達と喋ってはいるが、他の事業へつなぐまでいかず、子連れスタッフの場合、同じ位の子を一緒に連れて行っているからこそ、突っ込んで言えなかったり、逆に話せたりなどがあった。

●上の子遊ばせに来て、ママは下の子を見て遊ばせるパターンも多く、赤ちゃんおもちゃが少なかった。怪我や事故はなかったが上の子も見ていないといけないので、大人が目もう少しあったほうがよかった。

③ 【委託事業】利用者支援事業（子育て世帯包括支援センター「いっしょ i s s y o へびた」）

利用者支援事業 相談件数（令和4年度）														
面 談	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
複合問題件数	6	8	2	5	7	5	7	3	5	8	12	8	76	
相談件数	88	105	100	99	123	104	112	109	137	113	141	121	1352	
関係機関対応	3	4	3	3	1	4	7	4	1	2	4	4	40	
電話相談	46	35	48	69	50	52	73	66	31	62	65	48	645	
メール相談	3	1	0	5	1	4	5	2	15	1	4	5	46	

※電話、メール複合・関係機関については省略

成果物：リソースマップ 2000 部



マイプラン様式

【良かった点】

- ・2023年の目標に掲げていた個別プラン「産前産後マイプラン」をベビースマイル石巻が基盤を作り、issy o へびた・えきまえで作成する事となった。
- ・令和4年度 issyo へびたでは計49件の産前産後マイプランを作成。マタニティ期のマイプラン作成により早い段階での他事業、他機関、保健師等への繋がりが図りやすくなり予防的な支援を行える手段にもなった。また、プラン作成担当者が産後電話で様子を伺う「issy o コール」まで担うことでネウボラ要素が入り相談者との信頼関係の構築に繋げることができた。
- ・ネット検索や口コミによるきっかけから、学齢期の保護者からの相談が増加。市内の産科にて issyo の周知を行い継続してイトーヨーカドでの月1回の出張相談を行った。
- ・例年の issyo パンフレットの配布や、アンケート活動から市内幼稚園・保育園職員からの認知度の向上が感じられ、カトリック幼稚園からは園に届いた制服のお下がり活用についての相談をいただいた。

【課題点】

- ・産前産後マイプランの認知度が低い点や、作成した方が「作って良かった」と感じられるプラン作りへの工夫やアプローチ方法に課題があると感じた。
- ・複合的な相談や、学齢期の相談が増加しており、繋ぎ先が無い・繋ぐ資源が無

いケースもある。制度外での資源開拓や地域連携を強化させていく必要があると感じた。

#### ④ 【委託事業】産後ケア事業（石巻市健康推進課、女川、東松島）

石巻市産後ケア 64名／東松島市産後ケア 10名／女川産後ケア 4名 総計 78名

##### 【良かった点】

- ・石巻市、東松島市共に、多くの方に利用いただけた。
- ・本田助産師の面談はもちろん、マッサージも産後のママの疲れを癒す良い機会となり、足湯も緊張した気持ちも体もほぐす良い機会となっていた。朝に来所された時よりも、帰りの表情は柔らかく感じた。短い時間ではあるが、有意義な時間の提供が出来ている。
- ・期限が切れて利用できずに終わってしまうかもしれないママ達にも利用いただける機会提供の対応として、実施予定日外での実施も多くあったが、子育てひろばスマイル、事務局など快く受け入れていただき、対応のお手伝いもお世話になった。ベビースマイル内での日々の連携力と柔軟な対応力からだ実感。
- ・1日1組の受入れではあったが、どうしても上の子を預けることが出来ない方に対して、上の子同伴での産後ケアも対応。希望者全員とはいかなかったが、産後ケアをあきらめずに利用していただけたケースも数件あった。

##### 【課題点】

- ・2人以上のお子さんがあるママで上の子の預け先が身内にない場合、費用面などから、産後ケアの利用をあきらめられる方もあった。
- ・産後ケアの周知が行き届いていないこともあり、期限ぎりぎりでも利用したいケースが多くあり、予定日以外で規模も縮小した中で実施したケースがあった。
- ・申請の方法も上手く利用者へ伝わっていないケースもあり、申請が届かない状況で利用されるケースもあった。
- ・スタッフだけでなく、有償ボランティアさんにも利用人数に合わせて、1名～2名お世話になるが、趣旨を理解しつつ臨機応変な対応が出来る方が必要のため確保が難しかった。
- ・利用者の方へ必要な資源などへのつなぎや情報提供が弱かった。（ひろば利用へつなげるなど）

#### ⑤ 【指定管理事業】・いしのまき子どもセンターコンソーシアムによる子どもセンター（児童館）の運営

- ・いしのまき子どもセンターコンソーシアムの代表団体として責任をもって運営を行った。協議会を3回開催した他、団体事務局との連携強化を図った。
- ・第7地域代表を務めた。（石巻・気仙沼・南三陸・登米の児童館・児童クラブ）
- ・運営を通して、石巻市子育て支援課と子どもの権利の理解を深め、子ども感の共有を重ねることができた。視察対応等協働して進めることができた。
- ・指定管理選定へベビースマイルとして応募し、R5より運営団体として指定を受けた。

## ⑥ 【自主事業】子どもの貧困、ひとり親支援

### 【良かった点】

- ・いっしょとファミサポで把握しているひとり親家庭にピンポイントで支援物資を渡すことができた。
- ・事業や施設の利用がなくても渡す約束をすることで近況の状況や新たな困り感がないかなど、様子をうかがうことができた。そこから新たな資源や情報を伝えることができた。
- ・大変な状況下での支援物資は大変喜ばれ、必要性を強く感じた。

## ⑦ 【委託事業】石巻市ファミリーサポート事業（石巻市子育て支援課）

利用会員480名／協力会員100名／両方会員68名／ 総計648名

活動内容 1位457件「仕事」 2位448件「放課後児童クラブのお迎え」

3位325件「リフレッシュ・保護者の用事」



### 【良かった点】

- ・初回講習会を河南母子健康センターにて行い、ファミサポ周知を河南支所や民生委員定例会で行えた。また牡鹿地区では牡鹿支援センターや牡鹿支所・社会協議福祉会・婦人会でファミサポ周知を行った。
- ・サブリーダーの動きでは桃生支援センターにて報告書の受け取りが行なわれた。
- ・台風が上陸する際、前日にキャンセル・日程変更のお願いをし、安全対策を行えた。
- ・ホームスタートと一緒に zoom にて issyo えきまえスタッフ事業説明会を実施。年間予定に入会説明会を入れたいと声が上がった。
- ・昨年度、障がい児の預かり援助依頼があり、別機関に繋ぐなどの対応だったが、ステップアップ講習会（障がい児の対応について）でアンケートを集計し「今後、障がい児の預かり依頼があった際に相談可能か」という質問に7名が相談可能の返答があった。今後も市と相談しながら障がいを持ったお子さんの預かりを要検討していく。

### 【課題点】

- ・1件援助でのコロナ感染があり、補償保険の手続きを行った。
- ・牡鹿にて預かり依頼があったが、援助可能な協力会員が居らず、援助不可となる。
- ・協力会員宅での預かりにて、線香を頬に当て赤みが残る事故があった。軽症の為受診はしなかったが協力会員に今後火気は控えて頂くよう伝える。会員同士で和解したが、援助中の事故につながる行動はしないよう声掛けを引き続き行っていく。
- ・以前対応した事務局スタッフとの対応の違いの指摘があがった。会員登録の状態が特殊な会員だった為、その情報共有や本来の事業の利用方法などをしっかりと説明する必要があった。

⑧【委託事業】子育て参加促進事業（石巻市子育て支援課）

開催日	実施	内容	総参加数 ※スタッフ除	連携・協力など
8月30日	企画会議	今年度事業内容について 19:00~20:30	参加父 10名	パパサークル IKO
10月30日～ 11月10日	アンケート	☆パパたち教えて☆パパ が使いやすい子育て支援	34件回収	
12月18日	イベント①	パパの日 10:00~14:00	14家族 父 14名 母 14名 子 26名 参加者計 54名 スタッフ 父 9名 子 3名	(株) つなぐ (原田)、NPO 法人 やっべす
1月22日	イベント②	パパの日 9:30~13:00	19家族 父 18名 母 11名 子 24名 参加者計 53名 スタッフ 父 7名 母 5名 子 10名	風船太郎、NPO 法人子育て応援 団ゆうわ (齋藤)、認定 NPO 法人 こども∞感ばにー
2月19日	イベント③	パパの日 9:30~13:00	14家族 父 13名 母 7名 子 20名 参加者計 40名 スタッフ 父 4名 母 3名 子 2名	市内子育て支援センター・宮城県 助産師会 (塩野)
情報発信		告知・周知・取材依頼	 子育て支援センターからパパへのメッセージは 当日掲示と当団体 HP に掲載しています。 ←QR コードからも確認できます	
			日日新聞、石巻かほく、イシモ、市報、団体 HP・SNS、いしのまき NPO センター、いしのまきパパ通信を作成し、市内子育て支援セン ター・保育所へ	

【良かった点】

・例年同様、事業に携わるパパたちに何がしたいかなど意見を出していただき、その中から、パパたちが作る、パパたちの支援センターを実施することに。

・実施当日は、パパスタッフの皆さんの積極的な動きが多くあり、臨機応変に参加されたパパ達への対応や、コミュニケーションを取ってくださったり、決まった役割ではなくても、すすんでクラフトの説明をしたり、自然な流れで積極的に関わる姿が多くあった。また、その中で見えた反省点や改善点などもパパから意見が出て、次の回に活かすなど、パパ達の良さが多く見られた事業となった。

・イベントも月に1度、計3回の実施だったが、毎回質の向上がみられ、イベントとしても良いものであったと感じている。

・パパスタッフ自身が楽しく事業を進めて下さったこともあり、参加されえた方からも、機会があれば自分も事業に関わりたいとのアンケート回答も多くあった。実際に事業に関わる方、参加された方にも、より良い事業であったと実感している。

【課題点】

・子育て参加促進事業のスタートが遅いこともあり、イベント開催も冬のみとなった。もう少し早くスタートができれば、季節を生かしたイベントを行ったり、プログラムも幅広くなるのではとも感じた。

・周知期間が少なかったこともあり、保育所へのチラシもぎりぎりの配布となった。スタートが早くなれば、周知期間にもゆとりが出来、さらに多くの方にご参加いただけるのではないかと感じている。

⑧【委託事業】父子手帳作成業務（石巻市健康推進課）重点：父親の育休制度改定





【良かった点】

- ・パパ達の実体験をもとに作成し、新しい制度などを新たに取り入れ、内容の必要性を見直しながら作成をしました。さらに、今回はデザインに関してパパたちセンスを取り入れ、手に取った時からパパ目線を感じる事が出来る雰囲気となったのではないかと思います。
- ・掲載の写真も編集委員の方以外からも募集をし、多くの写真が届き、実際に父子手帖に使用させていただきました。みんなで作り上げている気持ちのこもった父子手帖になったのではないかと感じています。

⑨ 【自主事業】家庭訪問型子育て支援ホームスタート事業（みやぎチャレンジプロジェクト助成） 重点：多胎児支援

利用家庭 22家庭×4回訪問 ビジター人数16名 オーガナイザー3名

【良かった点】

- ・23家庭の申し込みのうち22家庭に訪問活動を行うことができた。（うち1家庭は相談事業につなぎ、ホームスタート利用なし。2家庭が延長希望）
- ・「産前産後マイプラン」経由の申し込みが増加し、i s s y oとの連携を深めることができた。また、らいつでの活動を見た他の利用者の申し込みも増え、ホームスタートが連鎖していく様子もあった。
- ・運営委員会を開催し、東部児童相談所、石巻市役所子育て支援課、石巻市役所健康推進課など子育てに携わる各専門機関のメンバーに参加いただき、ホームスタートいしのまきの実績報告や事業計画の共有、ホームスタートの周知や今後の連携イメージについての意見交換を行うことができた。
- ・2期のビジター養成講座を開催し、30代から70代まで、8名のホームビジターが新に誕生した。

【課題点】

- ・訪問がきっかけでの感染とは断定できないが、訪問への不安感からしばらくお休みするという出来事があった。申し込みの際に体調不良がある場合は訪問できない旨を再度お伝えし、ビジターの負担にならないよう配慮していく。
- ・東松島の方からの依頼が増えている。現在活動できる東松島にお住まいのビジターは1名しかおらず、負担が多い。今後距離が遠い依頼について検討が必要である。
- ・ビジターの人数が増え、出番が分散されることによって訪問の機会が減ってしまう。ビジターのモチベーションアップのために研修会や利用者へ周知活動に強化していかなければ

ならない。

⑩ 【委託事業】石巻市協働推進人材育成事業「NPO 留学」(地域振興課)

受け入れ：1名

【良かった点】

・R4年度はじめて「NPO 留学」の受入れを行った。

・ベビースマイルに興味をもって選んで来てくれ、前向きに聞いたり、事業ごとに市の関りについても質問をし、どのように連携しながら行っているかなど、真剣に話を聞いてくれた。実際に子育てひろばや、信金での様子、子どもセンターらいつなど、利用者の方と触れ合う機会を持った。

・ベビースマイルの若年層の認知度に関するアンケート調査・報告書を作成するなど、ベビースマイルの必要性を感じたことで、「子育てをスタートしてから知る」状況ではなく、学生の頃からこういうところがあることを知ること、安心して出産出来る街として認知して子育て家庭、子どもの出産率をあげることができるのではといった指摘など、お互いに得るものが多くあった受入れとなった。

【課題点】

はじめての受入れで、どのような準備をすると良いのかなど、今回は手探りでもあった。今回の受入れで感じたことを今後の受入れに生かしてプログラムを作成していきたい。

⑪ 組織強化：ステップアップのための土台作り (J&J プロボノ支援 事務局：日本 NPO センター)

J & J の職員とロジックモデルの作り方を知るワークショップを2回行った。

⑫ その他

【協議会、委員会等】

(協議会等)

いしのまき市民公益活動連絡会議／石巻圏域子ども・若者支援地域協議会／こども食堂連絡会議／生活支援体制事業第2層協議体蛇田地区／

(委員会・審議会等)

内閣官房 こども家庭庁設立準備室 こどもの居場所づくりに関する検討委員会委員

石巻市子ども・子育て会議委員・宮城県次世代育成支援対策地域協議会委員

社会福祉法人石巻市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員

石巻市総合交通戦略審議会委員・石巻市地域福祉委員会委員

宮城県児童館・放課後児童クラブ協議会 理事／全国児童厚生員研究協議会 理事

いしのまき人財・地域創生会議／石巻圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会構成員

石巻市立地適正化計画策定懇談会構成員／宮城県地域共生社会推進会議専門部会部会員

石巻市子どもの居場所づくり懇談会構成員

加瀬沼公園における子育て世代に配慮した施設整備及び管理・運営にかかるワーキンググループ

(表彰)

宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会 館長勤続5年

【講演・取材等】

- ・「広がれボランティアの輪」連絡会議 「子どもや若者が自分らしく成長できる社会をめざして ～ボランティア・市民活動にできることを考える～」
- ・石巻日和ライオンズクラブ・石巻想クラブ支部例会「石巻、みんなが親心。～「こどもまんなか」社会に向けて～」
- ・わいコム／たまがわ いち・にい・さん「子育て家庭の減災講座」
- ・連合宮城石巻地協 2023 春季生活闘争討論集会「命を守る。地域とつながる子育て支援」
- ・子育て支援の在り方に関する研修会～現場に学ぼう・つながろう～「困難を抱えた親子に対する子育て支援の実例について」
- ・全国子どもの健全育成リーダー養成セミナー 居場所の本質を探る 第1分科会「児童館に求められる居場所（サードプレイス）機能」パネリスト 全体会「今、居場所について考える」
- ・令和4年度土木部職員意識啓発講演会 「子ども子育て支援の今～居場所づくりからまちづくりを考える～」
- ・未来へ、いのちをつなぐ石巻の会 長純一さんをしのぶ会 第三部「俺がいなくなっ  
てからがはじまりだ～未来へ、いのちをつなぐ想い～」
- ・特定非営利活動法人とちぎみらい with ピア 総会時記念講演会「未来へとつながる命、  
誰一人残さない子育て・まちづくりを……。～ポストコロナ時代の新しい日常の中で  
～」
- ・児童健全育成財団主催「オンラインこどもかいぎ」中学生の部ファシリテーター
- ・ポプラ社「こどもの学びが未来をつくる」取材掲載
- ・ずうっと宮城 女性のためのポータルサイト 取材掲載
- ・アベ勝自動車広報に掲載紹介